

りょういき いりょうてき  
＜領域：医療的ケア＞

いりょうてき  
医療的ケア

もんだい つぎ きじゆつ そくてい りゅういてん もっと  
問題 101 次の記述のうち、バイタルサインを測定するときの留意点として、最も  
できせつ えら  
適切なものを1つ選びなさい。

- 1 非接触型体温計による測定では、環境温度に注意する。  
ひせつしょくがたいおんけい そくてい かんきょうおんど ちゅうい
- 2 脈拍の測定では、橈骨動脈に拇指で触れる。  
みやくはく そくてい とうこつどうみやく ぼし ふ
- 3 呼吸の測定では、ゆっくりと息をするように伝えてから行う。  
こきゅう そくてい いき つた おこな
- 4 血圧測定では、上腕にマンシエツトを隙間のないように巻く。  
けつあつそくてい じょうわん すきま ま
- 5 意識レベルは、まず身体を揺さぶって反応をみる。  
いしき しんたい ゆ はんのう

もんだい きかん こうぞうとう かん つぎ きじゆつ ただ えら  
問題 102 気管カニューレの構造等に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選び  
なさい。

- 1 気管カニューレは、咽頭に挿入されている。  
きかん いんとう そうにゅう
- 2 気管カニューレは、交換の必要がない。  
きかん こうかん ひつよう
- 3 カフは、カニューレの上端についている。  
じょうたん
- 4 カフには、滅菌蒸留水が入れてある。  
めつきんじょうりゅうすい い
- 5 サイドチューブから、カフの上部の貯留物を吸引することができる。  
じょうぶ ちよりゅうぶつ きゅういん

もんだい さい だんせい まんせいへいそくせいはいしっかん  
**問題 103** Aさん(85歳, 男性)は, 慢性閉塞性肺疾患(chronic obstructive pulmonary  
 disease)で, 介護老人福祉施設に入所している。ある日, Aさんから, 「痰がから  
 んでいて, 咳をしても出せない」という訴えがあった。介護福祉士が呼吸回数を  
 確認すると, 1分間に22回で, ゴロゴロという音がしていた。看護職からは, 右  
 肺に痰が貯留しやすいという情報提供があった。口腔内吸引をすると, 粘性の  
 強い透明な痰が吸引できた。

このとき, 介護福祉士が喀痰排出を促すためにAさんに行う対応として, 最  
 も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 居室の湿度を30%に保つ。
- 2 水分摂取を控えるように伝える。
- 3 左側を下にした体位を勧める。
- 4 太い吸引チューブに変える。
- 5 ベッド上での安静を勧める。

もんだい つぎ きじゆつ い こうぞう ただ えら  
**問題 104** 次の記述のうち, 胃の構造として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 幽門から始まり噴門で終わる。
- 2 左上方を胃底部といい, 食べ物を一時的にためる。
- 3 左下方の縁を小弯という。
- 4 胃には3つの生理的狭窄部がある。
- 5 胃に続く小腸は, 空腸という。

もんだい つぎ きじゆつ がたい そうにゆう りようしゃ たい  
問題 105 次の記述のうち、ボタン型胃ろうチューブを挿入している利用者に対し  
て、介護福祉士が行うケアとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- い しゅうい ひ ふ ほっせき ばあい なんこう とふ  
1 胃ろう周囲の皮膚に発赤がある場合は、軟膏を塗布する。
- にち かい い かにてん ゆちやく ふせ  
2 1日に2、3回、胃ろうチューブを回転させて、癒着を防ぐ。
- い ばつきよぼう ほうこう さ すす  
3 胃ろうチューブの抜去予防のため、歩行は避けるように勧める。
- い しゅうい ひ ふ せつ ゆ せんじょう せいけつ たも  
4 胃ろう周囲の皮膚は石けんとぬるま湯で洗浄して、清潔を保つ。
- えいようざい ちゅうにゆう まえ い ぶ しょうどく  
5 栄養剤を注入する前には、胃ろう部を消毒する。

もんだい  
Bパートの問題はここまです。